

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市国民健康保険運営協議会				
事務局 (担当課)		保険企画課 電話 042 - 707 - 7023 (直通)				
開催日時		令和2年8月13日(木) 15時~16時35分				
開催場所		ウェルネスさがみはら7階 視聴覚室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	12人(健康福祉局生活福祉部長、他11人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 委員の委嘱について 2 議 題 (1) 新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給について (2) 相模原市国民健康保険事業の概要について (3) 令和3年度以降の相模原市国民健康保険事業について (4) その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言 )

### 1 委員の委嘱について

選出団体の委員交代により新役員の推薦があったため、2名の交代があった。

### 2 議 題

工藤議長より、定刻において出席委員数9名により定足数である過半数を充足し、本議会が成立する旨報告がなされた。

#### (1) 新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給について

事務局より資料1に基づき、制度の概要、国通知および本市対応などを説明し、4月24日に「相模原市国民健康保険条例の一部を改正する条例」が可決され、同日公布施行されたことを報告した。

##### 【質疑・意見等】

○どのように周知しているか。

納税通知書にパンフレットを同封して全加入世帯に周知したほか、広報さがみはら、市ホームページに掲載した。

○対象として「感染が疑われるもの」とあるがどのような場合か。

国基準が途中で変わり、当初37.5度以上の発熱が4日以上続く方とされていたが、その後発熱された方となった。またPCR検査で陰性だったとしても、雇用主から自宅待機等の要求がある場合も対象になる。

#### (2) 相模原市国民健康保険事業の概要について

事務局より資料2-1及び2-2に基づき、相模原市国民健康保険事業特別会計予算及び決算見込等について説明を行った。

##### 【質疑・意見等】

○国民健康保険財政健全化方針の目標達成に向けて、市は努力していると見受けられるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が予想され、また高齢化により被保険者が減少していることもある。今後も努力していただきたい。

○県内での収納率の順位はどのようになっているか。

速報値の順位であるが、昨年よりは順位を上げているものの未だ下位にいる。県内33市町村中の25位、政令指定都市では20市中17位であり、当面は政令市平均の93%を目指している。

○特定健診・人間ドックについて、未病対策として取り組まれていると思うがメタボ対策には人間ドック助成を増やした方が効果的ではないか。

健康診断については将来的な病気の予防、ひいては医療費の抑制といった意味で効果的と捉えている。メタボリックシンドロームの話もでたが、糖尿病の透析は一人当たりの医療費が非常に高額であるため、特定健診を受診することで重症化することを未然に防げると考えている。本市としては気軽に受診していただき、病気の予防に努めていただきたいと考えている。特定健診と人間ドックで同じ検査項目があり、特定健診受診率に人間ドックで受診された分も計上されている。

○人間ドックの助成に申し込んで受けられないことはないか。

予算の上限はあるが、助成が受けられなかった方が生じたことはない。

○例年5月の広報に助成の記事が掲載されていると記憶しているが、今まで受診したことがない人は見逃すこともあるのではないか。

広報さがみはら、市ホームページのほか納入通知書の同封する国民健康保険のしおりにも掲載している。広報には力をいれていく。

○特定健診受診率が変わらないのはなぜか。

例年同じ人が受診しており、新しく受診される方が少ないことが要因ではないかと推測している。年齢が上がり後期高齢になる方もいるので、これまで特定健診を受けていない方が受診されるよう広報に力をいれていく。今年度は、SMSサービスを利用した受診勧奨も行う。

○市の特定健診は、会社で受けていた健康診断より項目が多く受診後の通知もわかりやすく良かったと思っている。私は60代になり健康に注意するようになったが、もっと若いうちから気を付けていればよかったと後悔している。若年層が健診を受けるよう広報を充実させてほしい。

○新型コロナウイルス感染症により特定健診の受診控えが続いているが、特定健診の受診率向上に向けては、さらに広報等を充実させてほしい。

### (3) 令和3年度以降の相模原市国民健康保険事業について

事務局より資料3に基づき、国民健康保険財政健全化方針の後継計画(令和3年度～)について策定の考え方等について説明を行った。

#### 【質疑・意見等】

○債権回収対策基本方針の債権とはなにか。

債権対策推進会議で扱う市民税・国民健康保険税などの主要8債権のこと。債権対策推進会議は未収金に対して市全体として回収していくために設けられており、効果を上げている。

○債権回収の努力が実り徐々に未収金が削減できていると感じられる。収納率が上がったため法定外繰入金が増えた、と考えているが、昨年度特に有効な取組はなにか。

収納対策についての特に有効な取組としては、平成30年8月から稼働させたコールセンター業務と考えている。まず第一に架電業務で初期滞納者へのお知らせを行っているが、うっかり納付を忘れていた方には特に有効である。第二に、コールセンターでの受電業務により、これまでは徴税吏員が行っていた市民からの収納に関する問合せ業務をコールセンターが担うことで、徴税吏員が本来の収納対策に集中したことで滞納処分や執行停止をすすめ、結果、収納率が上昇したと考えている。

平成30年度から段階的に、国民健康保険財政健全化方針に基づき決算補填案等を目的とした法定外繰入金を削減するという取組を推進してきた。令和3年度以降の事業内容については、法定外繰入金の解消も見込めるようになった状況を踏まえ、計画してまいりたい。

#### (4) その他

相模原市第2次データヘルス計画の中間評価・見直しの概要等について説明したのち、事務局より次回の運営協議会予定を伝えた。

最後に議事録の作成については、会長及び副会長に一任された。

以上

## 国民健康保険運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	根岸 直子		公募委員	出席
2	生田 修		公募委員	欠席
3	平尾 恭子		公募委員	出席
4	佐藤 昭子		公募委員	出席
5	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会	保険医等代表	欠席
6	陳 勁一	一般社団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
7	庄井 和人	公益社団法人 相模原市歯科医師会	保険医等代表	出席
8	佐藤 克哉	公益社団法人相模原市薬剤師会	保険医等代表	欠席
9	工藤 加鶴美	相模原商工会議所	公益代表	出席
10	中牟田 好江	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	公益代表	出席
11	長谷川 兌	相模原市自治会連合会	公益代表	出席
12	大貫 君夫	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	公益代表	出席